

## 新型インフルエンザについて

新型インフルエンザは A 型インフルエンザの一つです。

大和市でも新型インフルエンザが流行してきています。

臨床症状では新型インフルエンザと従来の季節型インフルエンザの区別は出来ません。

### 〔1〕 診断と問題点

迅速検査で A 型が陽性

しかし、A 型が陽性でも新型か季節型か区別するには PCR 検査が必要ですが、特別なケース以外は行いません。従って迅速検査で A 型陽性に出た場合には新型インフルエンザに準じ対応いたします。

#### ① 迅速検査の問題点

(1) 37.5℃以上の発熱から少なくとも 8～12 時間以上経たないとほとんど陽性になりません。可能なら時間を見計って来院なさることをお勧めします。

(2) 検体の採れ方、検査キットのメーカーによっても検査結果が左右されます。

従って最終的には周囲の状況、臨床症状で判断することもあります。

### 〔2〕 治療

(1) 基本的にはノイラミニダーゼ阻害剤（タミフル、リレンザ）使用する方針です。（勿論強制ではありません）

その根拠はアメリカやメキシコの報告によると重症患者さんのうち基礎疾患のない健康な大人やお子さんの割合が 40%を占め、季節性インフルエンザより明らかに重いウィルス性肺炎を起こしていること、しかも最初から重症なわけではなく発熱後 4～5 日（平均）して急速に悪化しているとのことから、発症当初に重症化の判断が難しい為です。

新型インフルエンザに対するタミフルやリレンザの使用は発熱期間を短縮する目的でなく肺炎の防止や重症化を防ぐ為です。

(2) ハイリスクグループ（5 歳未満のお子さん、高齢者、基礎疾患のある方、妊産婦）はタミフル又はリレンザの使用をお勧めします。

尚、インフルエンザと異常行動は良く知られていますが、タミフルやリレンザとの因果関係はいまだ結論が出ていません。念のため 18 歳未満の場合は発症から 2～3 日は出来るだけ目を離さないようにしてください。

### 〔3〕 自宅療養期間

解熱から 2 日です。

### 〔4〕 注意していただきたい症状

- ① 呼吸が速い、息が苦しい
- ② 意識が朦朧としている。訳の判らない事を言う。
- ③ 咳が激しく、胸が痛い

④ 痙攣

⑤ 下痢、嘔吐がひどい

この様な時には必ずご相談ください。

## インフルエンザワクチン

従来の季節型インフルエンザワクチンは新型インフルエンザには効果ありません、

① 季節型インフルエンザワクチン

例年通り 9 月から予約を受け付けております。

接種は 10 月から開始です。

今年は例年よりワクチンの数が不足しており早めにご予約をお願いします。

② 新型インフルエンザワクチン

具体的な発表がない為未定です。